

わかくさ学級 生活単元学習・総合的な学習の時間 活動略案

令和6年11月22日5校時

わかくさ学級

鳥の家つくりグループ 8名

1. 単元名 「ひみつきち プロジェクト」～鳥となかよくなるう～
2. 本時のねらい
仲間と協力して鳥のエサ台作りに取り組むことができる。
3. 本時の展開 (28/52)

主な学習活動・学習内容	○…指導上の留意点等 評…評価
1. 前時の振り返りをして、本時の流れを確認する。 C: 鳥がエサを食べる台を考えた。 C: 今日は、鳥のエサ台作り。	○教師が作成した絵または写真を入れた掲示物を掲示し、聞いている周りの児童にとって視覚的に分かりやすくする。
鳥が来てくれるエサ台をつくろう。	
2. 掲示した役割分担表を見て、一人ひとりのめあてを確認する。 C: 釘が曲がらないように、少しずつ打つ。 C: 丁寧に色を塗る。	○役割分担表を掲示し、前時の振り返りで考えた一人ひとりの本時のめあてを確認する。
3. 材料と使う道具を準備し、鳥の家を作る。 (木製とプラスチック製の2種類作成) C: こっちの木のほうがいいね。 C: くぎが曲がらないように気を付けて。 C: 少しずつ打てばいいよ。 C: こっち側の木を押さえてるね。 C: (鳥は)何色がいいかな。	○木材を扱う児童には軍手をはめて安全に作業を開始できるように伝える。 ○活動の中で対話が増えるように、教師が作業途中に質問したり、子どもの発言を聞き取ったりする。言葉での表現が苦手な児童には、教師が言葉を補って伝えたいことが伝わるように支援する。 評 自己の取組を振り返り、鳥が来てくれるために何をすると良いか考えている。よりよいエサ台にしようという探究活動に取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 (観察・発言)
4. 片付けをする。	
5. グループでの活動を振り返る。 【感想】 C: 釘を真っすぐ打つのを頑張った。 C: 曲がったくぎを抜くのを頑張った。 C: 色を丁寧に塗った。 【次回へ繋げる】 C: エサを中に入れてどんな鳥が来るか見たい。 C: ビデオをとって鳥が来るか見たい。 C: どんな鳥が来るかな。	○本時の活動を振り返って感じたことを共有し、今回の活動を通して学んだことを次回の活動につなげる。

4. 板書計画

